

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-6	・多様なニーズに対応した住宅政策の展開

主管課・係	課	係
	建設課	建築営繕係
	建設課	管理係
関係課・係	農林課	林政係
	総合政策課	地域振興係

【施策の目的と取組・現状分析】

1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。	①景観や自然環境に配慮し、且つ、地場産材を活用した安全で安心して生活できる住宅の建設が進んでいる。				
2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？	▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。 ①ユニバーサルデザイン(以下「UD」)を取り入れた住宅の増加 ②空き家バンク成約 ③地場産木材を使用した住宅の増加 ④老朽化した町営住宅建替え推進				
3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 目標値	令和元年度 実績値	令和2年度 目標値
A UDを考慮した町営住宅数(累計)	戸	32	34	34	44
B 空き家バンク成約(累計)	戸	12	17	16	20
C 公共建築物における地場産木材使用件数(累計)	件	16	17	17	18
D 町営住宅建替戸数(累計)	戸	10	12	12	12
4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？	5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方		
A ③ ほぼ目標値どおり	計画通り整備できたため	④ 達成は困難	現在の町営住宅建設の工事着手が令和3年度からとしているため。		
B ③ ほぼ目標値どおり	新たな物件が登録されたことによる動きがあったため	③ 取組改善で達成可能	登録物件数を増やすため、啓発を進め目標達成が可能であると考えられる。		
C ③ ほぼ目標値どおり	計画通り整備できたため	① 既に目標クリア	想定した公共建築物数以上に地場産木材を使用し、整備することができたため。		
D ③ ほぼ目標値どおり	計画通り整備できたため	② このままで達成可能	予定通り交付金事業として採択されたため、目標値を達成することができた。		
6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？	▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。 ・寺前団地建替えに地場産木材の活用とUDを取り入れた。 ・前回の調査から4年が経過し、空き家が急激に増加していると考えられるため、空き家全戸調査を実施し空き家バンクへの登録を推進する準備を進めた。 ・公共建築物を建設する際に地場産木材の供給に配慮した工期や仕様を設定した。				
7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？	▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。 ・既存の町営住宅は、段差やトイレ等に手摺が無いため、高齢者や障がい者の居住の際には入居者が手摺を設置していた。 ・空き家バンクを通し4件成約され、新たな所有者により適正に管理されている。 ・従来の公共建築物では、木材の産地指定は無く、施工者の判断により流通木材にて建設されてきたが、南会津町産の指定をすることで、地場産木材を使用した公共建築物が建設されている。				

【施策の振り返り】

8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？	▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。 ・メゾネット(住宅内に階段がある2階建て)形式を改め、平屋建てのUDに配慮した建物に建替えを実施した。 ・4件の契約が成立し、空き家が解消された。 ・公共建築物に地場産木材を使用することで、地場産木材の流通サイクルが構築された。		
9 2の成果目標の視点から、問題点は何ですか？	▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。 ・2階建てを平屋建てにすることで建築面積が大きくなり、敷地面積に対する戸数が減少した。 ・内の空き家総数に対し、空き家バンク登録件数が少なく所有者へ周知を工夫する必要がある。 ・公共施設整備では、地場産木材を積極的に使用しているが、民間施設では地場産木材に限定されていない。		

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？	・今年度より、計画に着手した松下団地においてもUDを考慮した住宅整備を行っていく。 ・空き家利用者のニーズに合った登録物件を増やすための工夫が必要である。 ・今後も公共建築物整備に地場産木材を活用していく。		
11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？	▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。		具体的な対応・対策
	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」		
	入居者及び入居希望者の高齢者等の割合が増加していることから、UD住宅の必要数を確保する必要がある。		多家族や高齢者住宅など世帯構成に合わせた住宅整備を行う。
	空き家が長期間放置されないよう、空き家バンクへの登録していただく。		相続などQ&Aの啓発チラシを作成し、所有者を初め周知を図る。
地場産木材を使用するためには、製品としてすぐに出荷できるストックが必要。		次年度の木材使用量の情報を共有することで、乾燥作業等の事前準備を効率よく行う。	
流通材と地場産木材の価格差をめる縮めるため、販売価格を下げる必要がある。		製材規格の種類を絞り、製材コストを削減する。	

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和元年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			30年度決算額	うち一般財源	元年度予算額	うち一般財源	2年度見込み額	うち一般財源
01	町営住宅建替事業	建設課	目的	町営住宅寺前団地の建替え(平成30年度)、町営住宅松下団地の建替え(令和元年度以降)				
			概要	老朽化が著しく住環境が悪化している(寺前団地・松下団地)を建替え、良好な景観と住環境を提供する。地場産木材による建設とUD化により地域木造住宅のモデル化を図る。				
			成果	地場産木材の活用とUDの視点に立った住宅1棟2戸(寺前団地)を建設した。				
		建築営繕係	問題	建替え計画に沿って入居者の住み替えなど協力が必要である。				
			対策	スムーズな建替えを行うため、入居者への情報の提供とコミュニティーの形成を図る。				
			事業費	50,154	35,538	8,200	8,200	16,500
02	空き家等対策事業	総合政策課	目的	過疎化や高齢化が進み空き家が発生している状況で、空き家条例を策定し適正な管理を図り、地域の良好な景観の保全と住民の安全安心な暮らしを確保する。				
			概要	空き家等の活用及び適正な管理の啓発等による管理不全空き家の発生抑制と、危険空き家の解消に取り組む。				
			成果	危険空き家の所有者と協議を重ねたが解決に至らなかった。				
		地域振興係	問題	条例により危険空き家の所有者へ、指導・助言を実施しているところですが、危険空き家以外の空き家に関する相談が増加しており、その活用を検討する必要がある。				
			対策	関係課、民間団体との連携				
			事業費	1,424	515	13,238	4,166	6,950
03	空き家等活用事業 (空き家等対策事業)	総合政策課	目的	過疎化や高齢化が進み空き家が発生している状況で、空き家バンク等の活用により、地域の良好な景観の保全と住民の安全安心な暮らしを確保するとともに、地域振興に寄与する。				
			概要	空き家バンク制度の整備				
			成果	空き家バンク制度を運用し4件の取引が成立した。				
		地域振興係	問題	空き家はあるものの、空き家バンクに登録を希望する所有者が少ない。また、相続関係で登録できない物件もある。				
			対策	所有者の理解を得るための啓発活動を図る。				
			事業費	0	0	0	0	0
04			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
05			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
06			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			51,578	36,053	21,438	12,366	23,450	9,380